

新阿蘇大橋工事見学会

8月24日(月)に2年生、8月25日(火)に3年生が新阿蘇大橋の現場見学に出かけました。日本全国見渡しても数少ない工法で行われているものです。これからの地域の未来、ひいては日本の未来を創造する子どもたちにぜひ見てもらいたいという熊本復興事務所からの提案を受け、村教育委員会が村内小中学校の行事を調整されて実現しました。私は毎日、阿蘇長陽大橋を通って通勤していますので、工事現場は毎日眺めているのですが、今回は現場で直接話が伺えるということで大変、楽しみにしていました。それで、日程の一番早い2年生の説明会に参加させていただきました。1組と2組に分かれて2台のバスに乗って移動しました。内容は2つで「現地見学会」と「出前講座」でした。

新型コロナウイルス感染防止のための対策として手指の消毒・移動の時の距離の確保。熱中症対策として冷房の効いた部屋での「出前講座」・水分補給、安全確保対策としてヘルメット着用・係員の配置など参加者の安全確保のために万全が期されていました。



(検温、体調確認)



(インクラインからの橋見学)



(集合写真)

見学の結果、やはり自分の目で見て考えることが大切だと再認識しました。説明会の後、「質問はありませんか？」と係の人が生徒に尋ねました。もし、何も出なかったら私が質問しようと考えていましたが、2人の生徒が私より先に質問しました。

大澤陽平くんは“ラーメン橋”という名前の由来について質問しました。私も最初に説明を聞いたとき、「食べるラーメンと何か関係が？」と疑問に思いました。ちなみに「ラーメン」とはドイツ語で「骨組み」を意味するもので“ラーメン橋”は地震にとっても強い構造になっているそうです。

新村響樹くんは今回の最新のインクラインやオートクライミング工法、超大型移動作業車を使用した時の作業時間と、これらを使わない従来の工法での作業時間はどれくらい違うのかという質問をしました。約2倍の違いがあり、従来の工法なら完成までに7年間程度かかると説明されました。阿蘇地域の創造的復興を熊本県が第一に考えているからこそ、最新の技術で行っていると話されました。毎日、24時間工事を続け、風雨の強いこの地域でも今年は3日しか、工事中断はなかったそうです。来年3月の開通式が楽しみです。

見学会後の生徒のみなさんの感想から充実した見学会であったことが伝わってきました。1年生も来週8月31日(月)の見学会を楽しみにしておいてください。

(※裏面に感想の一部を載せています。)

7月豪雨からの復興(人吉より)

阿蘇大橋の現地見学を終えて、日本の建設関係の技術力の高さを改めて感じました。右の2枚の写真は、7月豪雨で橋が流された人吉の風景ですが、約1ヶ月で復旧工事が進み、もうすぐ通れるようになります。みなさんの中から将来の建設業界をひっぱり手が出てくるかもしれません。期待しています。



(7月12日画像)



(8月22日画像)

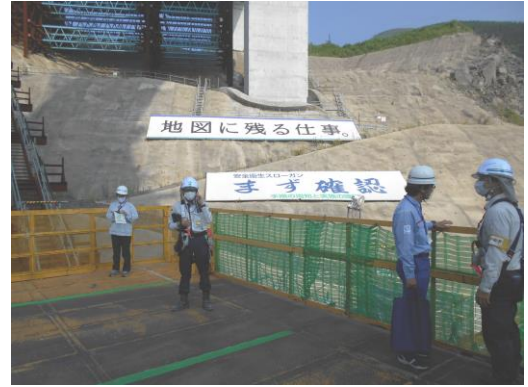
新阿蘇大橋工事見学会の感想から紹介します。

2年1組 田尻 明日夢くん

僕は阿蘇大橋の見学に行ったのが良かったです。僕が一番楽しかったのはインクラインで下に下がっていく時です。インクラインから見る景色はなかなか良かったです。60トンまで乗れるインクラインをワイヤーで引いていてすごいと思いました。今回の見学を通して僕は少し土木工事に興味が湧きました。また行けるのであれば行きたいです。

2年1組 引場 正弥くん

今日は少し暑かったけど、工事をしている人のことを考えると、何ともなかったです。いつも車から見えている橋に比べたら近くに行くと、とても大きく見えます。あんなに高い場所にもものを立てられることはすごいと思います。早く開通して自転車で上を走りたいです！



2年2組 中林 青子さん

今日、最初に橋の見学をして、作業進行が早くて驚きました。私は地震の時に南阿蘇にいなかったのですが、大きな地震は感じていなかったけど、今日、いろいろな話を聞いたり、実際に見たりして、改めて地震の怖さを感じました。今まで夜に橋を渡ったことがなかったので気づきませんでしたが、1日中工事をされていることを知り、とてもびっくりしました。関係者の方々は1日でも早い復興を願っているのだと思い、うれしく感じました。次にもし地震が起こっても崩れにくい構造になっていると知り、とても安心しました。先日は雷も鳴り、大変なことは多いと思いますが、これからもよろしくお願いします。新阿蘇大橋を通るのを楽しみにしています！

2年2組 藤本 夢人くん

僕は地震後、新阿蘇大橋に行っていなくて、とても行きたかったのが、今回行けて嬉しかったです。近くで橋を見ると、あの時の事を思い出します。でも、いろいろな人のおかげで新阿蘇大橋ができるのが僕の宝物です。いろいろな工夫がされていて、さすが、事業事務所だと思いました。ラーメン橋は、橋梁形式の1つで、上部工(主桁)と下部工が、剛結された構造の橋のことを指していることがとても分かりました。これから先、3月にできる新阿蘇大橋とともに生きていこうと思います。今日は僕たちのために、見学やいろいろな事をしただけ、ありがとうございました。お体に気をつけられて頑張ってください。

3年1組 田邊 杏子さん

新阿蘇大橋には、たくさんの技術を使って工事に取り組んでいることがわかりました。それらの技術は全て橋を利用する人々が一刻も早く利用できるようにという思いからなされているものです。私たちは工事の人々の意思を心から感謝しないといけないと思います。説明を聞いて驚いたことは、60人で工事を行っていることと、24時間働くのを3年間続けていることです。大変苦勞なされているのだらうと思いました。

3年1組 野田 琉音さん

まず、最初、現場の見学に行きました。橋の近くに行くため「インクライン」というエレベーターを使いました。「インクライン」の上に60トン乗れると聞き、ビックリしました。片道6分半くらいかかるけど、すごく便利だと思いました。阿蘇大橋の下部工は国内で5位、上部工は4位、どちらも国内最大規模でスゴイなっていました。阿蘇大橋の作業は24時間体制で3年間していると聞き、本当に有り難い気持ちになりました。それもほぼ県外から来られていました。毎日大変な作業をされている方々への感謝の気持ちを大切にしたいです。

3年2組 井川 彩加さん

私は今日の学習で新しい橋がどうやって作られているのかを知りました。少しでも早く完成するようにと様々な工夫がされていてすごいと思います。また、大切な自然を少しでも多く残そうと工事の内容を変えているので、ただ早くするだけじゃなくて、未来のことも考えているんだと思いました。今日の見学でみんなが早く通られるようにと毎日一生懸命作業をされている方々の姿を実際に見て、私も誰かのために頑張りたいと思いました。自分にできることから探していきたいです。

3年2組 山口 左貢騰くん

僕は地震で阿蘇大橋が壊れたことをあまり覚えていないけど、地震から4年経った今でも、復興のシンボルとして掲げられていることって、すごいことだと思いました。僕が小学生の時に壊れた橋が元にもどることをとても嬉しく思います。いつか車を手に入れたら橋の上を走ってみたいと思います。